

旅する円空、目的地は大阪!

円空仏が大集合!



大黒天立像 個人蔵(一言市博物館蔵)

●観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,800円	1,600円
大高生	1,400円	1,200円
中小生	500円	300円

チケット販売場所

あべのハルカス美術館ミュージアムショップ(美術館開館日のみ)、あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)、近鉄駅営業所、ローソンチケット(Lコード53233)、チケットぴあ(Pコード686-703)、イープラス、セブンチケット(セブンコード103-536)、CNプレイガイド、楽天チケットなど。

※団体は15名様以上。※前売券は2023年11月23日(木・祝)～2024年2月1日(木)まで販売。
※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターで購入されたご本人と付き添いの方1名様まで当日料金の半額。
※チケット購入の際にプレイガイドによって各種手数料が発生する場合がございます。

●音声ガイド

[ナビゲーター]

諏訪部 順一さん
(声優、ナレーター、ラジオパーソナリティ)



3月29日生まれ。東京都出身。リョウめんすくな主なアニメ出演作は『呪術廻戦』両面宿儺役や『テニスの王子様』跡部景吾役など。長年に渡り第一線で活躍し、声優アワードでは2013年と2018年に助演男優賞、2023年に富山敬賞を受賞。近年は音楽朗読劇に精力的に取り組み、多くの舞台に出演している。

『呪術廻戦』の両面宿儺役でおなじみの諏訪部順一さんに、「両面宿儺坐像」を彫った円空さんの人生とその活動に迫っていただきます。

展覧会会場入口にて、専用ガイド機をレンタルできます。
貸出料金:650円(税込) ※お一人様1台

●お得な前売りセット券

- ペア券(一般2枚)
3,000円(税込)
※ローソンチケットにて販売。
- グッズセット券 数量限定
3,350円(税込)
(一般1枚+(木tch)キーホルダー)
※セブンチケットにて販売。
- 御朱印セット券 数量限定
2,250円(税込)
(一般1枚+千光寺御朱印1枚)
※セブンチケットにて販売。
- 音声ガイドセット券
2,200円(税込)
(一般1枚+専用ガイド機1台)
※セブンチケットにて販売。



千光寺御朱印



【木tch】キーホルダー

※本展観覧券と引換券が別々に発券されます。両方お持ちください。
※グッズと御朱印は、会期中あべのハルカス美術館ミュージアムショップにてお引換ください。
※音声ガイドは、音声ガイド機貸出受付にてお引換ください。

●イベント情報

～円空は“氣”～

●ハルカス大学連携 記念講演会

講師:大下 大圓氏(岐阜県・千光寺長老)
日時:2024年2月3日(土)13:30～15:00(13:00開場)

～いま円空を想う～

●ハルカス大学連携 スペシャルトークセッション

出演:大下 大圓氏(岐阜県・千光寺長老)
小島 梯次氏(円空学会理事長、本展監修)
日時:2024年3月16日(土)13:30～15:00(13:00開場)

会場 あべのハルカス 23階 ハルカス大学セミナールーム アクセス <https://harudai.jp/join/campus/> 定員 70名(事前申込制、先着順)

申込期間 2023年11月23日(木・祝)10:00～定員に達し次第終了 申込方法 ハルカス大学WEBサイト <https://harudai.jp/>

※聴講は無料ですが、本展観覧券(半券可)が必要となります。※お申込みは、お電話(06-6622-4815)、もしくはハルカス大学受付(あべのハルカス23階キャンパスフロア)でも承ります。

撮影ルールについて 一部の作品のみ撮影OKです

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス16階

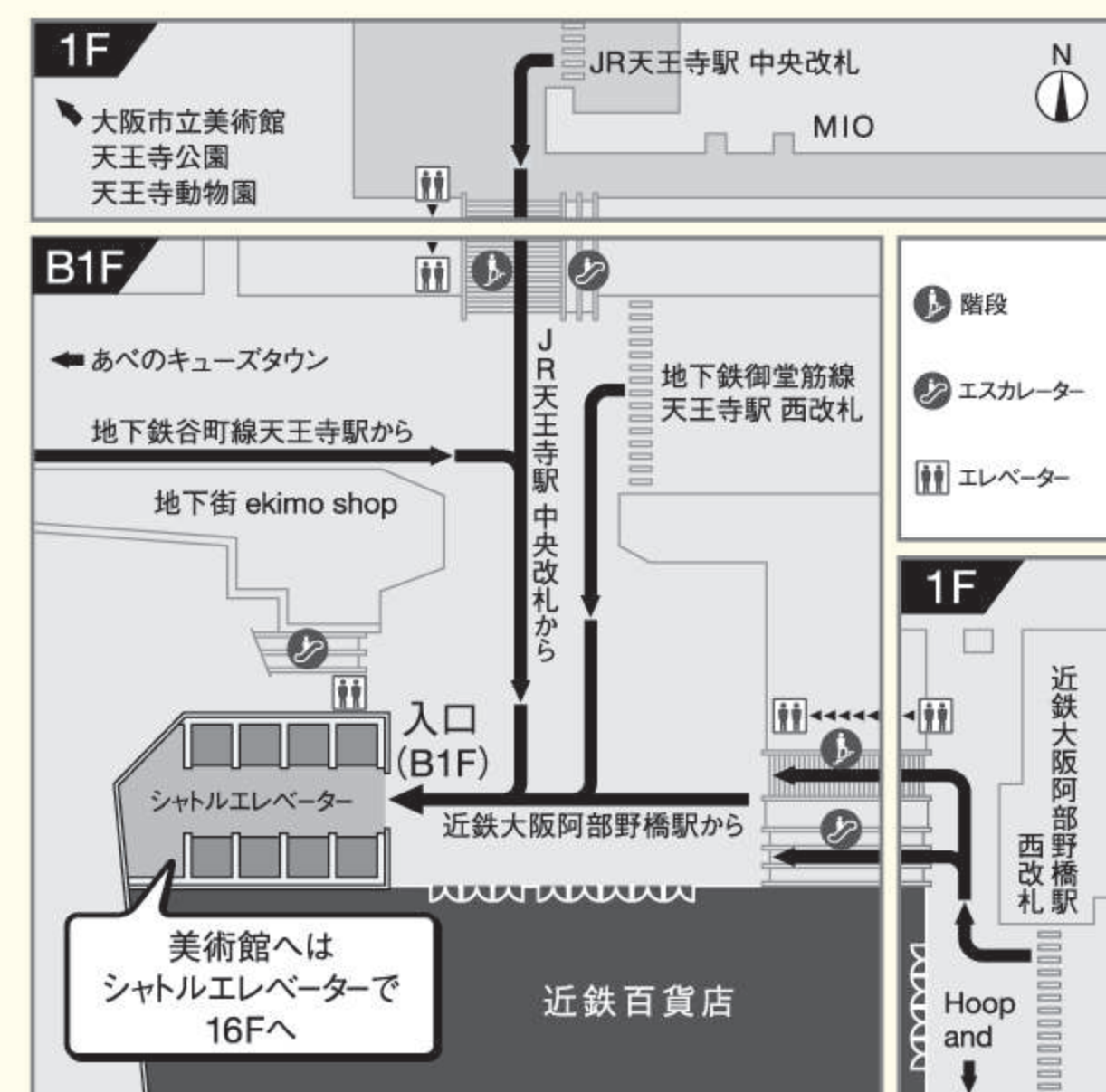
近鉄「大阪阿部野橋駅」
JR・地下鉄「天王寺駅」
阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

あべのハルカス美術館へはシャトルエレベーター
【乗り口:地下1階または2階】をご利用ください。



【お問い合わせ】06-4399-9050
【美術館公式HP】<https://www.aham.jp/>

※開催内容の変更や入場制限等を行う場合があります。最新の情報は美術館公式HPをご確認ください。



あべのハルカス美術館開館10周年記念

円空

旅して、彫って、祈って

2024年2月2日(金) - 4月7日(日)

開館時間 火～金/10:00-20:00 月土日祝/10:00-18:00 ※入館は閉館30分前まで

休館日 2月5日、3月4日の各月曜日

主催 あべのハルカス美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿、朝日新聞社

協賛 NISSHA

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

両面宿儺坐像(リョウめんすくなざそう) 岐阜県・千光寺
画像提供:東京国立博物館 Image:TNM Image Archives

この道が、私の行きたい道なのだ

生涯に12万体の仏像を彫ると誓ったといわれる江戸時代の修験僧・円空(えんくう、1632年-1695年)。円空は各地の霊場を旅し、神仏を彫り、祈りを捧げました。円空が彫った神仏は、あるものは優しい微笑みをたたえ、あるものは迫力のある怒りの相を表し、多くの現代人の心をも惹きつけてやみません。本展では、「円空仏」とよばれ親しまれている彫刻はもちろん、絵画や文書など円空の人柄に触れることのできる貴重な史料により、その生涯と活動を紹介します。

本展の
みどころ

1. あべのハルカス美術館1会場のみで開催!
2. 約160体の円空仏が大集合
3. 「円空さん」の生涯を伝える絵画、文書、書籍も含め、その人となりを探求

1. 旅の始まり



近世崎人伝(きんせいいきじんでん)京都府立京都市学・歴史館 画像提供:京の記憶アーカイブ

壬申年(寛永9年(1632))に美濃国で生まれた円空の若かりし頃を初期の作品や文献資料をとおして振り返ります。

円空没後100年近くたった寛政2年(1790)出版の書物。円空の人となりや飛騨の千光寺の住職・舜乗との交友について記されている。

3. 神の声を聴きながら

白山神の託宣(「円空の彫る像は仏そのものである」)を受けて確信を深め、ますます精力的に造仏活動をおこなった50歳前後の円空仏を展示します。

不動明王及び二童子立像 栃木県・清瀬寺



2. 修行の旅



護法神像(荒神像) 奈良県・板尾観音堂

修行を積み重ねていくうちに円空仏の作風がすべすべとした丁寧な作風からよりごつごつとした大胆な作風へ変化していったさまをたどります。

4. 祈りの森

円空が住職の舜乗と意気投合し、しばし滞在した飛騨の千光寺に伝わる円空仏の数々を紹介します。



千光寺を開いたとされる異形の人物。「日本書紀」では大和朝廷に服さぬ逆賊とされているが、飛騨や美濃では土地を開拓し豊かさをもたらした英雄として伝えられている。



両面宿禰坐像 岐阜県・千光寺
画像提供:東京国立博物館 Image:TNM Image Archives

地面に立ったままの木から彫り出されたと伝わる像。円空は「近世崎人伝」の挿図のように鉋を振るったとされている。

金剛力士(仁王)立像(卍形) 岐阜県・千光寺
画像提供:東京国立博物館 Image:TNM Image Archives

5. 旅の終わり

旅し、神仏を彫り、祈ることを生涯続けた円空の最後の約10年間に迫ります。飛騨や美濃地方に残る多様な円空仏をご覧ください。

護法神立像(左)・善財童子立像(右)
岐阜県・神明神社(関市円空館寄託)



柿本人麻呂坐像 岐阜県・東山神明神社(飛騨高山まちの博物館寄託)
画像提供:東京国立博物館 Image:TNM Image Archives